

2017 年度卒業式祝辞

学校法人梅村学園総長・理事長
梅村 清英

中京大学の卒業式に当たり、学校法人梅村学園を代表して祝意を述べさせていただきます。皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。お子さまを支えてこられた保護者、ご家族の皆さま方に、心よりお慶び申し上げます。学生を教育、指導してこられた教職員の皆さまに深く感謝いたします。

本学は「自ら考え、行動することのできるしなやかな知識人」の育成を教育目標にしています。「しなやか」とは、何事にもくじけない、柔軟で強い、という意味を込めています。皆さんはすでに、そうした資質を十分に備えています。社会生活を送っていく中で、本学を卒業したことに自信を持ち、それを誇りとしてください。

皆さんを待ち受ける社会は、大きく変動しています。日本が目指すべき将来の社会の姿は、「Society 5. 0」と言われています。狩猟社会、農耕社会、工業社会、そして現在の情報社会に続く、人類史上5番目の新たな経済社会のことです。「超スマート社会」とも呼ばれ、I o T（インターネット・オブ・シングズ）やA I（人工知能）などの技術を最大限に活用し、サイバー空間とフィジカル空間（現実世界）を融合させ、人々に豊かさをもたらす、人間中心の社会とされています。

例えば、自動走行のコミュニティバスが住民の足となる。インターネットで注文した日常生活用品がドローンで宅配される。遠隔地でも先進的な医療を受けられる。Web上で学び直しの機会が充実する。こういった社会の到来は夢物語ではありません。中部5県の広域経済団体、中部経済連合会は、中部圏が「Society 5. 0」の実現に向けた研究の集積など十分なポテンシャルがあると指摘しています。皆さんは、こうした社会の動向を見極め、仕事や日常生活に活かしてほしいと思います。

海外に目を転じましょう。アメリカのトランプ政権は誕生してから1年が経過しました。トランプ大統領はアメリカ第一主義を掲げ、12か国の環太平洋連携協定（TPP）交渉から離脱し、北米自由貿易協定（NAFTA）は再交渉を始めるなど保護主義的な姿勢を前面に出しています。トランプ氏がツイッターで重要施策に関してつぶやくケースが頻繁にあり、為替や株価にも影響を及ぼす事態となっています。日本は同盟国ですが、貿易面での摩擦に発展しないか、注意深く見守る必要があるでしょう。一方で、アジアでは北朝鮮の核問題がまだ解決の糸口を見いだせない状態が続いています。

日本の経済はこの1年どうだったでしょうか。景気回復局面が続いており、高度成長期に景気拡大が57か月続いた「いざなぎ景気」を超えたことが昨年11月に確認されています。戦後2番目の長さです。ただ、「実感が乏しい」という声もあり、企業が今年の春闘で積極的な賃上げに踏み切るかどうか注目されています。このまま来年の年明けまで景気拡大が続くと戦後最長となります。卒業後、どんな職業でも常に経済動向に関心を持つことが大切です。

企業活動で残念だったのは、大手企業の重大なコンプライアンス違反が相次いだことです。大手メーカーの検査データ改ざんや不適切会計が発覚し、日本のモノづくりの信頼を損ないかねない事態となりました。事業のグローバル化、会計処理の高度化、現場の人手不足などが背景にあり、コンプライアンス、ガバナンスの確立が求められています。

一方、明るい話題もありました。将棋の世界では、愛知県瀬戸市出身の中学3年生、藤井聡太さんが、史上最年少でプロ棋士デビューし、歴代最多の29連勝という快挙を成し遂げました。デビュー時は四段でしたが、先月は羽生善治竜王に勝ち、六段に昇段しています。若い才能には驚かされるばかりです。

スポーツでは、2月の平昌オリンピックで、日本人選手が冬季大会最多のメダル13個を獲得するなど、日本全体が選手の活躍に感動しました。本学スポーツ科学部2年生の宇野昌磨選手は男子フィギュアスケートで初出場し、見事銀メダルに輝きました。同じくスポーツ科学部2年生の堀島行真選手は男子モーグルで決勝に進出しました。このほかOBの2選手、附属高校生1人も含め学園関係の5選手がオリンピックの舞台上で躍動しました。梅村学園の特徴の一つであるスポーツを世界最大の祭典で示すことができたのは素晴らしいことです。

さて、梅村学園の中核である中京大学は、長期計画「NEXT10」に基づき、2014年から教育・研究の体制や環境整備など、様々な改革を進めてきました。これからも、建学の精神である「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を徹底して深めていきます。「NEXT10」による「改革」から、新たな価値を創り出す「創造」へと歩みを進める決意です。皆さんが一層誇れるような母校とするため、「さらなる殿堂」を築いてまいります。社会人となっても母校とのつながりを持ち続けてください。

今日の卒業式は皆さんの可能性をさらに大きく開花させる式典です。これからも、広く、深く学び、多くの友人を作ってください。月日はあっという間に過ぎていきます。「高い志」を持って、怠ることなく、常に校訓「真剣味」で臨んでください。ご卒業、誠におめでとうございます。